

# ～防災知っ手帖～

発行：郷地東町連合自治会 会長 志村和亮  
防災部 鈴木祥平 酒井直

## 防災学習セミナーを開催しました (2022.11.1～)

今年度は昨年実施の「webによる視聴」に加えて、各自治会で「DVDによる視聴会を開催」(視聴会を開催できない一部の自治会ではDVDの個人への貸し出し)も実施していただきました。

みなさん、web(～2023.1.5)又はDVD(～2022.12.中旬)による視聴はしていただけたでしょうか。



## 防災学習セミナーの補足

セミナーの中で、「昭島市における被害想定では『多摩東部直下型地震』の影響が最も大きい」としてありますが、これには『立川断層帯地震』が含まれていません。

しかし被害想定は『立川断層帯地震』の方が圧倒的に厳しいものになっています。

## 活断層による地震にも警戒をして下さい

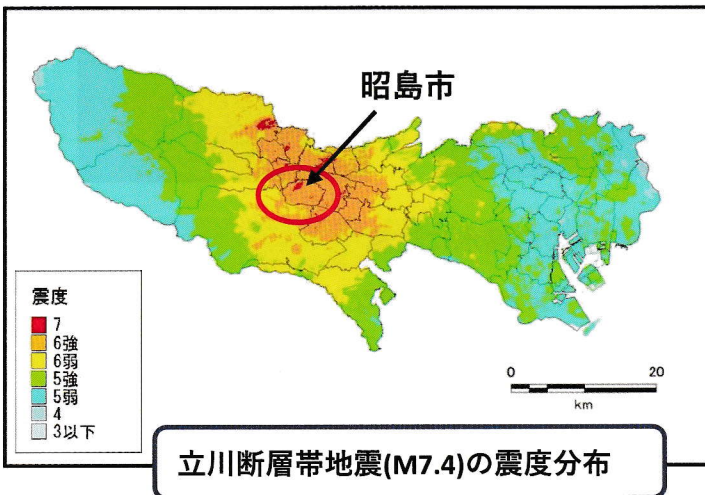
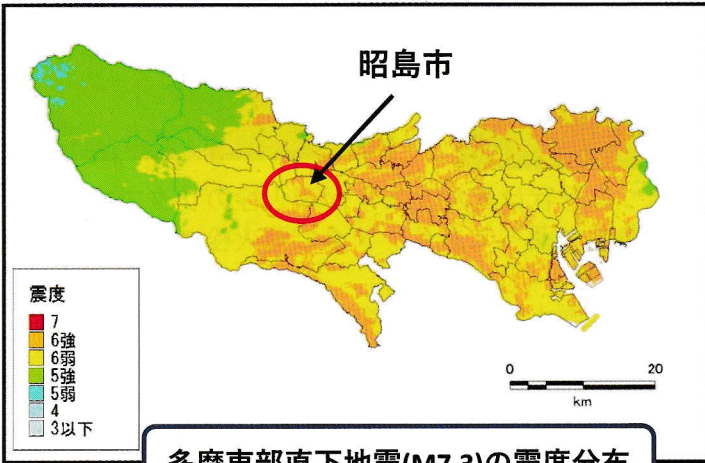
「首都直下型大地震の今後30年以内の発生確率は70%」というのは南関東地域全体について評価されたものであり、その中の一つが「多摩東部直下地震」ということです。一方「立川断層帯地震の今後30年以内の発生確率は0.5～2%」とされていますが、これは断層地震の発生間隔が非常に長い為に確率が小さく出ています。

ちなみに、2016年に熊本地震(震度7が2回)を引き起こした断層帯による地震では、地震発生前には今後30年以内の発生確率は0～0.9%とされていました。

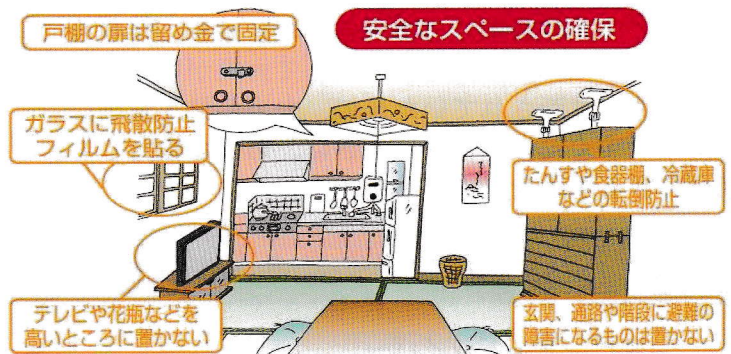
この為、活断層による地震の危険度は、確率ではなく4段階の「ランク」で分類されます。

- Sランク：3%以上
- Aランク：0.1～3%未満
- Zランク：0.1%未満
- Xランク：不明(データがなく危険度不明)

立川断層帯地震はAランクですね。



## 部屋の安全を点検しましょう



- (1) 転倒・落下・移動の防止
- (2) 観音扉は留め金で固定
- (3) ガラスの飛散防止
- (4) 身近にスリッパや運動靴を
- (5) 出入口が倒れたもので塞がれない様に配置を工夫する。

昭島市の被害想定	震度別面積率(%)				建物(棟数)	
	5強以下	6弱	6強	7	全壊	半壊
多摩東部直下型地震	0	70.5	29.5	0	346	1,582
立川断層帯地震	0	1.4	90.9	7.7	1,669	2,299

(注) 「東京都の新たな被害想定 2022年5月25日」より